

第Ⅱ章 国際森林年に関する我が国の取り組み

1. 国際森林年と我が国の立場

国際森林年に関する国連の決議を受け、我が国としても国際森林年に積極的に取り組むこととした。特に日本において2011年は「国際森林年」であるとともに、「森林・林業再生プラン」を進めていく「森林・林業再生元年」である。日本は、森林率が先進国中で世界第3位（FAO,2010）と世界でも有数の森林国である。しかしながら、日本の森林の蓄積は、ここ40年間で約2.5倍となっている一方、木材自給率は3割弱と外国からの輸入に頼っている。その結果、森林が活用されていない、また間伐等の手入れが遅れることで森林がもつ多面的な機能が低下している森林が増えており、新たに木材を利用することで日本の森林・林業を再生していく取組みが求められている。

このように、我々日本は、世界の森林問題に大きな関心を払うべき立場にある。そして国際森林年という節目の年に、現在取り組んでいる森林・林業再生や「美しい森林づくり推進国民運動」を推進していくとともに、途上国の森林保全等に対する国民の理解の促進につなげていくことが必要である。

2. 国際森林年活動戦略

我が国では、上記立場を考慮の上、下記2点を中心に、活動を推進していく。

- ①国際森林年国内委員会を活動の中心として、豊かな森林を守り育てていくこと、またそのために国民一人一人が具体的に行動することが重要であることへの理解を深める。
- ②我が国の林業を再生し、美しい森林づくりを推進するはずみになるよう、全国各地でのイベントも活用しながら効果的な取組を展開する。

[主な取組]

- ・国際森林年記念会議の開催
- ・地方公共団体等と連携した全国記念行事の開催
- ・その他の取組

森林・林業に関わる既存の国民運動と連携した国際森林年記念行事

国有林業事業の取組

各種メディアとの連携による取組

国際森林年に向けた説明・情報交換会

その他の取組

3. 国際森林年推進体制

上記戦略を円滑に実行していくにあたり、次の2点により体制づくりを行い、国際森林年の推進を図った。

- A. 国民運動の中核的組織として、「国際森林年」における普及の方針や国民へのメッセージ、活動指針等を決定する「国際森林年国内委員会」を設置し、随時開催する。なお、その委員会では、関係各省庁にも参加いただき、情報交換の場ともする。
- B. 「国際森林年国内委員会」の事務局として、国内委員会の運営・実施を行うとともに、国際森林年国内委員会で決議された事柄の公表、実行を行っていく「国際森林年国内委員会事務局」を設置。その事務局により、各民間企業、団体と連携した国際森林年活動を推進していく。

① 国際森林年国内委員会

広く国民への普及を検討していくため、森林・林業関係者から民間企業代表者、学識者、著名人まで、あらゆる方面の有識者を構成メンバーとし、国内委員会を結成。

(参照：P34 国際森林年国内委員メンバー)

② 国際森林年国内委員会事務局

林野庁のもと、森林・林業関係との連携が強い、メディアとの連携が強いという観点から下記3団体により国際森林年国内委員会事務局を構成。

- i. 美しい森林づくり全国推進会議事務局
フォレスト・サポーターズの実施、運営など、業界団体、林業関係団体、地方組織、企業、NPO等への豊かなネットワークを所有。各団体への連携を効率的に行うことが可能な団体。
- ii. 学校法人 東京農業大学
食と農と環境の全ての領域を有する国内最大規模の農学系の総合大学であり、信頼性が高く、森林・林業学術界への豊かなネットワークを所有している。全国に拡がりのあるネットワークを所有し、本事業に関わる知見が豊富。

iii. 株式会社 電通

広告業界の最大手企業として多くのメディア・民間企業との多くの取引をもち、今回の事業における民間企業連携やメディアの活用が効果的にできるネットワークをもつ。2010 国際生物多様性年における事業の実施など国民運動事業や FOOD ACTION NIPPON など農林水産省事業に関する実績も豊富。

③林野庁における国際森林年の推進体制

林野庁のそれぞれの課において国際森林年の活動を検討・実施したほか、庁内横断的な組織として下記のとおり「国際森林年推進チーム」を立ちあげ、毎週の定例会議で取組について計画・討議した。

[国際森林年推進チームの構成]

チーム長：林政部長 末松広行

構成員：上練三、大道一浩、赤羽元、飯田香耶子、武田佑介、高木美貴、高村康正、樽井雄嗣、伊藤香里、岸田周、澤山秀尚、岩佐正行、上田浩史、石飛 法子、市川秀隆、岡林正人、上西美樹、大川幸樹



[国際森林年国内委員メンバー] (五十音順、敬称略)



赤池 学(あかいけ まなぶ)
ユニバーサルデザイン
総合研究所所長



秋山 耿太郎(あきやま こうたろう)
日本新聞協会会長
※第3回より。第2回までは前任 内山 青氏



天野 礼子(あまの れいこ)
作家



飯塚 昌男(いづか まさお)
日本林業協会会長



出井伸之(いでいのぶゆき)
美しい森林づくり全国推進会議代表



井上篤博(いのうえ あつひろ)
セイホク株式会社代表取締役社長
※第2回より



大久保 尚武(おおくぼ なおたけ)
経団連自然保護協議会会長
※第2回より



草野満代(くさのみつよ)
フリーアナウンサー



坂本 龍一(さかもと りゅういち)
音楽家、モアトゥーズ代表



佐々木 毅(ささき たけし)
国土緑化推進機構理事



C(シー)・W(ダブルユー)・ニコル
C.W.ニコル・アフアの森財団理事長



多田 欣一(ただ きんいち)
岩手県住田町長 ※第2回より



仁坂 吉伸(にさか よしのぶ)
和歌山県知事



沼田 早苗(ぬまた さなえ)
写真家



速水 亨(はやみ とおる)
速水林業代表取締役社長



広瀬 道貞(ひろせ みちかず)
日本民間放送連盟会長



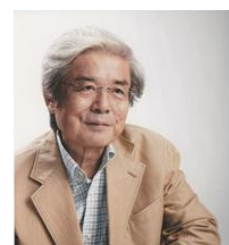
宝月 伝造(ほうげつ つねひこ)
日本森林学会会長



三村 明夫(みむら あきお)
日本プロジェクト産業協議会会長



宮林 茂幸(みやばやし しげあき)
東京農業大学教授



養老 孟司(ようろう たけし)
日本に健全な森をつくり直す委員会委員長

